

広報



かわにし

平成4年 8/10 No.408

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)

(FAX 0257-68-3828)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き	
— 8月1日現在 —	
男	4,399 (+2)
女	4,463 (+5)
計	8,862 (+7)
世帯数	2,215 (-1)
()は前月比較	



花の香りに誘われて

— 7月21日「川西ダム」管理棟周辺 —

川西町土地改良区(南雲春雄理事長)が管理する「川西ダム」の管理棟周辺には、サルビア、マリーゴールド、ケイトウ、ダリアなど1,000株の花が植栽されており、花の観賞や憩いの場所として喜ばれています。

この植栽は、お盆などに帰省客が「川西ダム」を訪れても、渇水期で水がなくてがっかりしてしまうのを見て、何かの役に立てばと、土地改良区職員が中心になって、5年ほど前から始めたもの。この日も、橘保育園の年長・年中組40人ほどが楽しんでいました。



休日救急医

8月16日 中条病院(中条) ☎ 57-3018

23日 池田医院(本町西) ☎ 52-2581

30日 庭野医院(寿町) ☎ 52-2711

9月6日 大坪医院(四日町) ☎ 57-6100

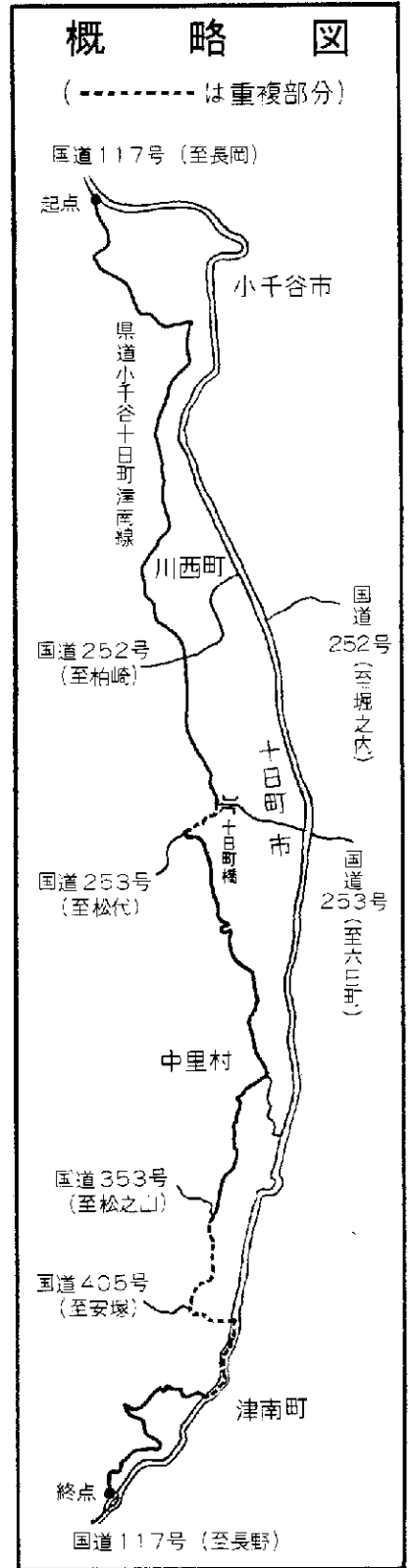
13日 山口医院(袋町) ☎ 52-2174

信濃川左岸開発には ずみ

主要地方道小千谷十日町津南線 改良整備促進期成同盟会を発足



期成同盟会が設立され、今後の改良整備に期待が寄せられています



七月九日、松葉荘で、主要地方道小千谷十日町津南線改良整備促進期成同盟会の設立総会がありました。

この路線は、小千谷市桜町地内を起点とし、信濃川左岸を通過して津南町宮野原橋詰めの国道一七号を結ぶ、延長六十二・六キロというもの。信濃川左岸の地域住民にとっては、さまざまな活動を支える最重要路線となっています。

しかし、未整備区間が多く、その機能を十分果たし得ないという現状であり、沿線市町村が丸となって本路線事業費の大幅な拡大などを図る運動を展開をする必要があります。

このことから、昨年来小千谷市と郡市四町村で協議を重ね準備を進めていたもので、この日の総会には、沿線五市町村の首長と議会議長、米賀として須藤、上村、山崎の二県議会議員と桜井県土木部道路建設課長補

佐、十日町・小千谷両土木事務所長ら二十五人が出席しました。冒頭、発起人を代表して南雲町長が「沿線市町村が一丸となって期成同盟会を組織することによって、信濃川左岸地区の開発につながるものと大きな期待を寄せている」とあいさつ。

続いて議事に入り、会則や南雲川西町長を会長とする役員、大幅な事業予算を獲得するための陳情活動など、今年度の事業計画を決めました。また、この席で県に対して、五市町村・十二地区の改良促進について陳情をしました。

この路線は、小千谷市地内は一次改良が終わっているものの旧規格のところが多く、今後二次改良が必要。十日町土木事務所管内は延長三十三・八キロ、そのうち改良済みはわずか四十七・八％。期成同盟会の設立によって、今後の整備に期待が寄せられていると、ころです。



170人ほどを招いて盛大に記念式典が行われました

水とともに

町土地改良区創立四十周年

七月八日、総合体育館で、町土地改良区（南雲春雄理事長）創立四十周年記念式典が、組合員や米賓百七十人を招いて盛大に実施されました。

土地改良区の設立は昭和二十七年二月で、坪山、長福寺ため池の築堤を土地改良区事業として団体営で取り組むことになり、故中村壯吉千手町長ら十五人で県に申請して千手町土地改良区

がスタートしました。

その後、三十四年に上野村の一部を、三十七年には仙田郷七地改良区を合併。さらに、四十二年には橘土地改良区を合併して、川西町土地改良区へと再編されて現在に至っています。

この間、三十四年の松葉沢ため池の溝あげと農地造成、四十六年から六十一年の十五年間におよぶ大事業県営かんがい排水事業や県営ほ場整備事業を施行。県内でも「稲作の先進町」として注目を集めてきました。

一町一土地改良区となった現在の町土地改良区は、一、一五六畝の山と二〇一畝の畑、その他を合わせて合計一、五八三畝を管理し、組合員一、六七六人を抱えています。

記念式典で式辞に立った南雲理事長は、「川西米は、日本一うまいコシヒカリの産地という名声を得るまでになったのは先人たちの積み重ねの成果にほかならない。これを上台として、川西ダムをはじめとする五つのダムの集中管理や、これらのダムの冬季間の克雪利用によって、

新時代に合った利活用を進めなければならぬ。そのためには土地改良区の役割は大きく、組合員の一致協力を願いたい。」と呼びかけました。

式典では、理事長を五年務めた平野圭三前理事長に特別功労賞が、また、四人の役員と十人の総代に功労表彰が贈られ、長い間の労をねぎらいました。表彰された方々（敬称略）

●特別功労

平野 圭三（東善寺）

●役員功労

5期 水 品正二郎（二領）

” 若山 三郎（新町新出）

” 滋野 正治（野川）

” 秦野 利一（仁田）

●総代功労

7期 羽鳥 力夫（伊友）

” 南雲 博（田中町）

6期 中村 富治（坪山）

” 黒島 善一（伊友）

5期 柄沢 悌二（沖立）

” 児玉 伝吉（稲葉）

” 高橋 義之助（神社町）

” 丸山 久一郎（根深）

” 戸田 彰平（仁田）

” 小林 忠臣（中仙川）

ダムを守り続けて

改修が始まっている昭和二十七年に築かれた「長福寺ダム」土手から、このたび二体の弁才天（いづれも、せともの）を発見。一体は、破損したものの、もう一体は、そのままの形で見つかりました。

発見された弁才天は、左の写真の、一番大きいものと、一番小さいもので、そのままの姿で発見された二番目のものは高さ27センチで、直径16センチ・長さ50センチほどの鉄の管に、当時の物価などの調べの文書と一緒に納まっていました。

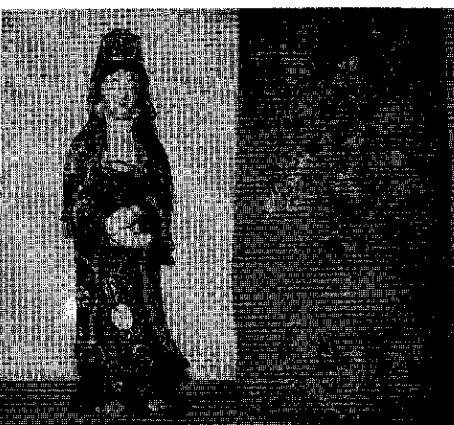
関係者も、「当時、築堤にあたり、観音様を三体埋めたという話は聞いていたが、どこに埋めたかということまでは聞いていない。まったくの偶然」と驚いています。

埋めた経緯などを詳しく知っている、当時工事委員長であった

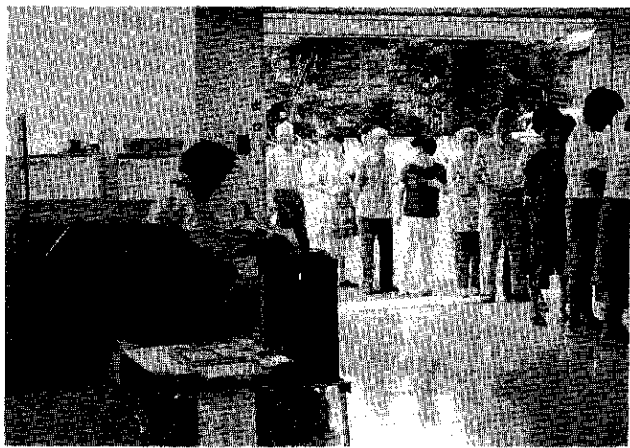
た白井源次さんの奥さんのスミさんにかがったところ、「ダムをつくるにあたり、災難が起きないようにと埋めたもので、三体のうち、一体は工事委員長であった主人が、一体は副委員長の小林伝司さんが、もう一体は篤志家であった清水松治さんから寄贈してもらったもの」ということがわかりました。また、弁才天のほかにも、「お経を書いてもらったものも埋めた」とも話しています。

ともあれ、このお経や一番小さい弁才天は見つかっていないものの、町土地改良区創立四十周年を見届けるように発見されたのも、何かの因縁があるのでしようか。

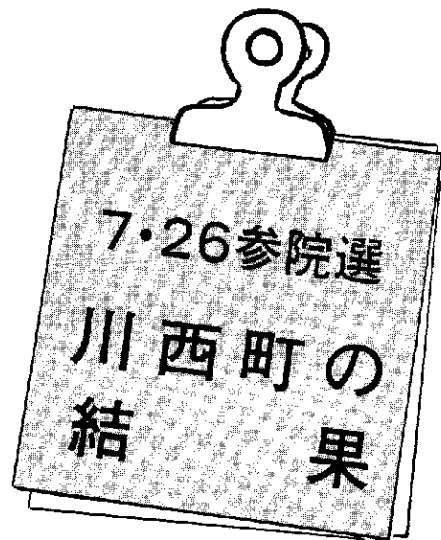
【弁才天】女神の一つで、土地豊穡をもたらす河神。



当時埋められた像（上、寺尾 白井スミさん提供）と発見された像と管



朝7時と同時に投票する有権者



当日の有権者数

男 3,310人
女 3,477人
計 6,787人

七月二十六日に行われた参議院議員通常選挙は、即日午後七時三十分から総合センターで開票されました。開票出と比例代表の二種類を投票したため、十七の投票所では投票者が分かりやすいように配慮されていたものの、間違っ

新潟県選出議員

投票者数	五、二七二人
投票率	七九・一七%
候補者別得票 (届出順)	
むらた一男	一四六・三八九票
まじま一男	二、八六三・六・〇票
おおふち絹子	二、〇八六票
北村ひさたか	一、二二三票
無効	一五四票

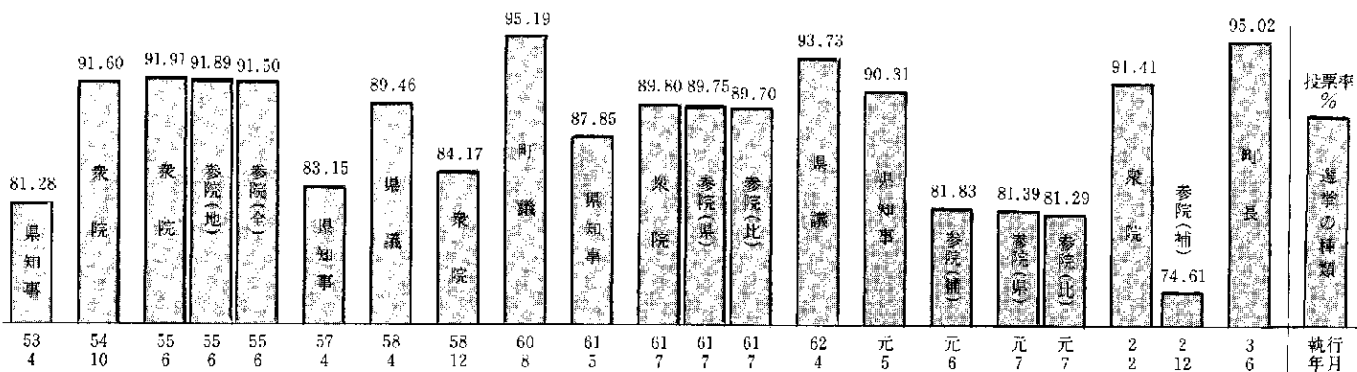
比例代表選出議員

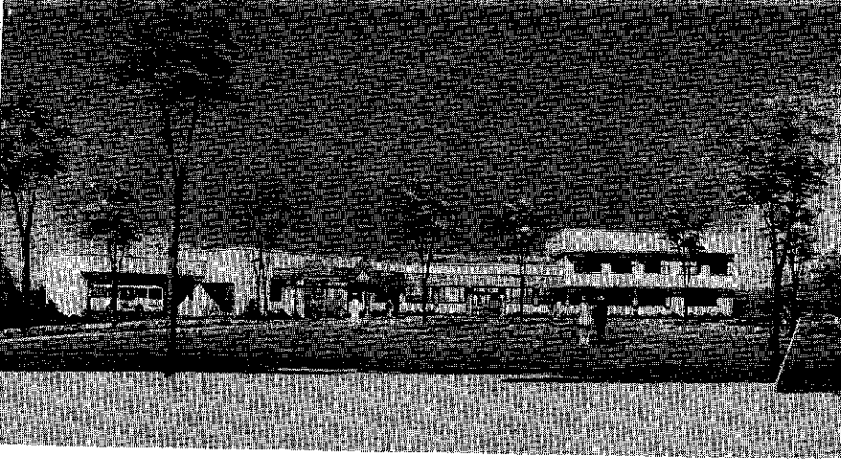
投票者数	五、二七二人	投票率	七九・一七%
政党別得票		国民新党	四・四八七票
発明政治	三票	日本国民政治連合	九票
国民新党	三票	進歩自由連合	〇票
日本国民政治連合	九票	教育党	二票
進歩自由連合	〇票	公明党	四・二〇票
教育党	二票	国際政治連合	一票
公明党	四・二〇票	「開星論」のJFO党	二票
国際政治連合	一票	全日本ドライバーズクラブ	一八票
「開星論」のJFO党	二票	老人福祉党	五一票
全日本ドライバーズクラブ	一八票	モーター新党	三二票
老人福祉党	五一票	社会民主連合	二二票
モーター新党	三二票	日本共産党	〇五票
社会民主連合	二二票	希望	七票
日本共産党	〇五票	第二院クラブ	五二票
希望	七票	新自由党	七票
第二院クラブ	五二票		
新自由党	七票		



町職員による開票作業のまよう

過去の投票率





新しい診療所完成予想図

平成5年1月完成予定 新しい診療所の 名称募集

締め切り 8月24日(当日消印有効)



新しい診療所の起工式。安全を祈願するクワ入れ式(7・8)

現在、新しい診療所の建設が、平成五年一月の完成を目指して、高原田地区で進められています。この新診療所の名称を次の要領で募集します。町内・外を問いませんので、ふるってご応募ください。

【応募方法】

はがき一枚に一点の作品とします。住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、川西町国民健康保険診療所あてお送りください。

【締め切り】

8月24日(当日消印有効)

【賞品】

採用一点、佳作若干。

【発表】

本紙に発表。本人にも通知します。

建築物の概要

構造 鉄骨造一部二階建て
延床面積 一、二四・五四
平方メートル

社会福祉協議会職員募集

- ◎事務局職員(事務員1人)
 - ◎老人デイサービスセンター職員
(生活指導員 若干人、寮父母4人、看護婦(士) または 準看護婦(士)1人、給食調理員1人)
- 申込受付 8月31日まで(郵送消印8月30日)

(社)川西町社会福祉協議会では、事務局職員と老人デイサービスセンター職員を、次の要領で募集します。

【募集人員】

◎社会福祉協議会事務局職員 事務員 一人

◎老人デイサービスセンター職員 生活指導員 若干人

寮父母 母 四人

看護婦(士)または 準看護婦(士) 一人

給食調理員 一人

【受験資格】(いずれも共通)

次の条件を満たしていること。
(1)45歳以下で、心身とも健康な人
(2)福祉に理解があり、施設に通勤可能な人
(3)普通自動車運転免許を所有している人

【試験の日時、場所及び方法】

試験日 9月6日(日)
受付時間 午後1時30分

場所 川西町総合センター
方法 作文試験と面接試験をします。

【採用日】

◎社会福祉協議会事務局職員 平成4年10月1日

◎老人デイサービスセンター職員 平成5年4月1日

【申込書の請求先】

川西町社会福祉協議会事務局
【申込書に添付する書類】

・医師の健康診断書 一通
・看護婦(士)または準看護婦(士)の場合は、そのほかに看護婦(士)資格免状の写し 一通が必要。

【申込書の受付期間】

◎いずれも同じ
8月31日まで(郵送の場合、消印は30日まで有効)

【問い合わせ先】
川西町社会福祉協議会事務局

☎六八―三〇八
有線 二五八七

都市計画案に伴う

縦覧のお知らせ

川西町特定環境保全公共下水道事業の都市計画案について、次のとおり縦覧いたします。

1都市計画を定める地域

(千手地区一四〇号)

川西町大字山野田、上新井、東善寺、水口沢、中産敷、沖

2都市計画案の縦覧場所及び時間

場所 川西町役場環境整備課
時間 月・金曜日 午前8時
30分～午後5時

3縦覧期間

平成4年8月10日～24日

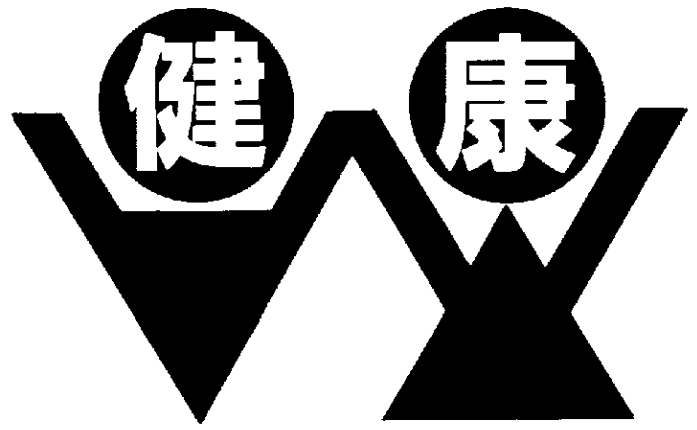
4問い合わせ

役場環境整備課下水道係
☎六八―三一一
有線 二一四一

土曜日 午前8時30分～
正午(第四週の土曜日
は、閉庁につき休んで
います)

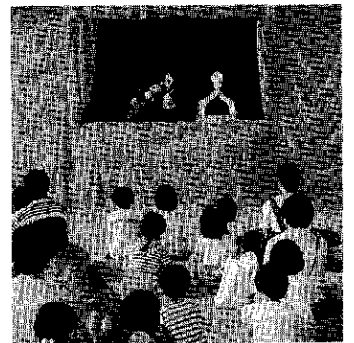


表彰された皆さん



老若男女みんなそろってシェイプアップ体操

づくり大会



楽しい人形劇の公演

七月五日、総合体育館を会場に、第五回健康づくり大会が開かれました。

当日は、NHK健康フェアや第五回町民つな引き大会、第四回健康づくりゲートボール大会なども実施されました。

午前十時三十分の開会式では、保健衛生功労者、三十回以上の献血功労者、健康づくり標語入選者、一年間家族全員が一度も医療機関を使わなかった、七世代の健康家族の表彰がありました。

健康づくりフェアでは、寺沢捷年さん(富山医科薬科大学教授)による「漢方薬を正しく使っていますか」と題した講演や、鈴木正成さん(筑波大学教授)による「自由に食べるダイエツト術」と題したミニ講話、監物栄子さんを中心にした指導員による、さわやかシェイプアップ体操などがありました。

また、コンピューター診断コ

ーナー、減塩食の試食コーナー、薬草展示コーナー、ビデオでアニメの上映や人形劇の公演など、盛りだくさんのコーナーも設けられました。

表彰された方々

(敬称略)

●保健衛生功労者

高橋 フミ(三 領)
内山 君 江(新町新田)
星 名 睦(上 野)
小幡 トミ(仁 田)

●健康づくり標語入選者

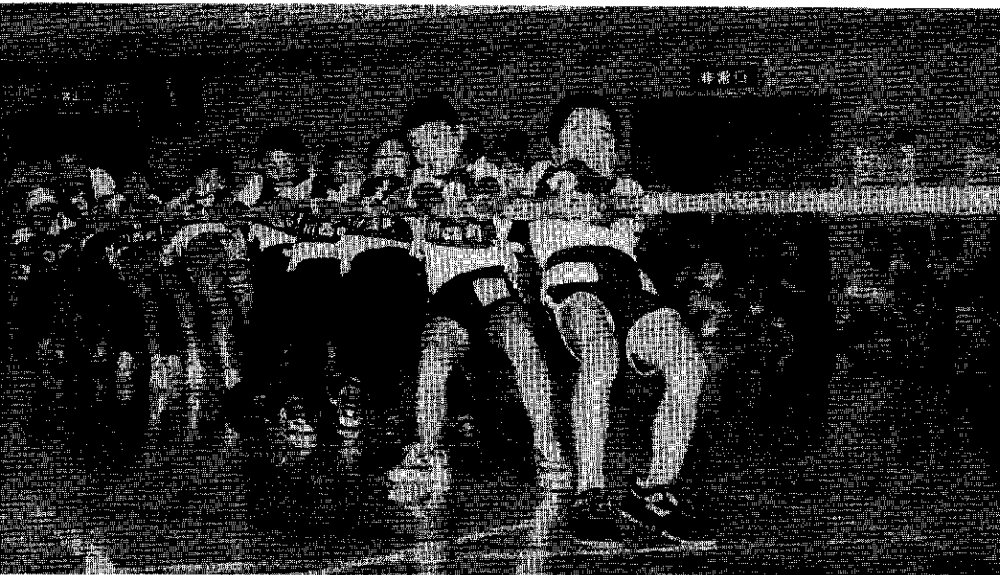
入選 小林 大 昌(仙田小)
佳作 桐 生 かおり(上野小)
" 高 橋 千代恵(千手小)
" 小野塚 崇(")

●献血功労者

30回 野 沢 和 仁(仁 田)
" 保 坂 好 夫(沖 立)
" 高 橋 和 弘(高原山)

●健康家族

山 中 軍 平(発通通り西)
渡 貫 三九二(新町新田)
佐 藤 寅 夫(仁 田)
青 木 久三夫(赤 谷)
登 坂 智 子(岩 瀬)
高 橋 喜久男(室 島)
半 田 美 好(室 島)



第5回町民つな引き大会 結果

〔小学校低学年の部〕

- 1位 木落サブロー
- 2位 わんぱく大将 (橘小)
- 3位 星のカービィ (千手小)
- 3位 ウルトラつな引きチーム (千手小)

〔小学校高学年の部〕

- 1位 おのっちょパワー (千手小)
- 2位 スペシャルファイターつな引き組 (千手小)
- 3位 S S C中仙田 B
- 3位 考ルパワー3 (千手小)

〔一般の部〕

- 1位 白倉オールマイティーズ
- 2位 モクラク (木落) A
- 3位 ポパイ and オリーブス
- 3位 フェニックス

小学生低学年の部で優勝した木落サブローチーム



12チームが参加して、
繰り広げられました。
白熱した試合が

第4回健康づくり

ゲートボール大会 結果

- 1位 沖立光会
- 2位 上野ときわ会
- 3位 白倉チーム



応援にも熱が入ります



減塩食の試食・試飲コーナー。「町内塩分マップ」
なども発表されました



日ごろの体力づくりなどについてアンケート
が行われました

仙田村の学校問題①

岩瀬 金子 幸 作

もめた仙田村

高等科の設置と学校統合、校舎の建設位置で対立し、明治・大正・昭和の半世紀をもみにもんだ仙田村の学校問題は、刈羽郡高田村（現柏崎市）の紛争と並ぶ県下の二大騒動であった。

もつともエキサイトしたのは昭和十二、三年で、赤谷の童子ヶ島に新設校を建てる統合案をめぐって村や集落が二分し、親類縁者が交際を絶ち、村会議員は夜道を歩くことができず、村長は辞職してそのあとになり手がないほどもめ続けた。

この案に強く反対したのは、話がまとまるとムラの学校が消える中仙田の川東と岩瀬であったが、なかでも岩瀬は中仙田校への通学拒否を申し合わせ、この「ムラ決め」で高等科に在籍した児童は一年で中途退学し、以後の数年は、一部の者をのぞくとだれも高等科へ行くことが許されなかった。このため、同級生や友人の間にミヅが生じ、進学を止められた組はヒネクレてムラ役員や大人たちに口答え

した。筆者も犠牲になった一人で、五十余年を経た今もなお無念の思いが捨て切れない。

他山の石として

岩瀬の指導者や父兄たちは、子どもを教育をどう考えていたのかと思痴のひとつもこぼしたくなるが、聞いてほしい人はとくくこの世を去り、今さらとやかく言っても始まらないだけにむなしことである。

川西町の現代史に目をとおすと、千手・中野・上野・橋村でも統合や位置をめぐって問題のおきていたことがわかるが、仙

田村みたくに、大人が子どもの存在を忘れて争ったような資料はどこにも見当たらない。

これから先、川西町の学校教育においても幼児教育の在り方や児童・生徒数の減少で問題がおこり、解決に困難な事態が予想されなくもないが、子どもたちだけは犠牲にしてはならないと身をもって感じている。

以下、仙田村の学校問題とありあげて他山の石としたい。

一村六カ校だった

大正末期に、仙田村役場の学事係がまとめた一葉の資料がある。学校問題の流れをつかむために、まずはこの「仙田村学校問題沿革」の書き出しに目をとおしていただきたい。

本村ハ従来仙田（室島）、中仙田、赤岩、白倉、田戸、高倉ノ六カ校タリ。

明治二十八年四月一日ヨリ、仙田校ニ高等小学ヲ併置セリ。

四十年二月始メヨリ一村一校ノ高等小学校トシ、現在ノ仙田校ハ甚ダ一方ニ偏シ居ル故、中央ニ独立若クハ併置ノ声強ク起ル、但シ実現スルニ至ラズ。

高橋翁の回想

室島の高橋惣治さんは明治三十四年生まれて今年九十二歳、

学校問題のさなかに村会議員を勤めたこの人が、もめた当初の仙田村を次のように回想する。

尋常科の四年制が六年になったのは明治四十二年で、翌年から「ハタ、タコ、コマ」の国定教科書に変わった記憶がある。

仙田村で最初の高等科が室島に置かれたのは、どんな様子がいてほかムラより税金を多く納め、それだけ発言力が強かったからだ。中仙田、赤岩校区はもちろん、白倉、桐山の子も今では考えられない難路を毎日室島の高等科に通学した。遠方の子は、冬は学校内に寝泊りを許されたが、加茂農林をめぐす岩瀬の金子喜一郎はどんなに大雪の日でも通い続けた。千手から二人、峠を越えて来て学んでいた。

高等科のほしい中仙田

中仙田の衆が「高等科を村の中央校に置くべきだ」と旗をあげ、これに赤岩や白倉校区が賛同して騒いだ時、室島は①瀬替え工事してできた新道は悪路で通学に至難 ②弁当を毎日持たせるのは容易でない ③傘や雨衣が無く大荒れの日に困るとムラをあげて反対した。

しかし、中仙田から川下の衆は県の息がかかっていて、「高等科といえは大人に近い性格、

オラも室島に通わせたのだからネラが中仙田へ来れないはずはない」と反論されて困った。

室島は連日常会を開いて対策を協議したが、ある年、村会を傍聴して来た人が次のように報告してみんなを驚かせた。

中仙田の軍人班長樋口八百作が在郷軍人に動員をかけ、軍服を着た兵隊が多勢役場へ押しかけて、「高等科を村のまん中に持つてこい」と気合いをかけていた。在郷軍人の言うことなのでどうしようもなかった。

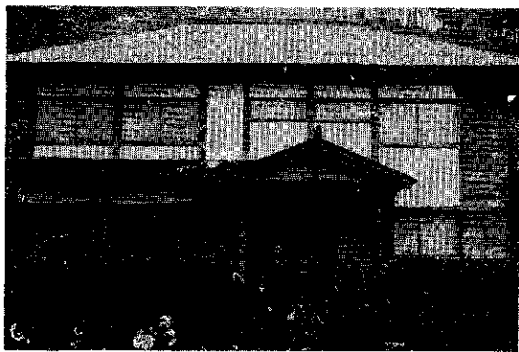
上組五集落の反応

藤沢は「仙田校併置にはこだわらない、どっちみち、通うことに変わりがいいから高等科はどの学校でも良い」という意見が強く、ムラが二つに割れた。

高倉は「室島に高等科を置くことに反対しない。その代わりに、霧谷と小脇の子どもをオラほうに通わせて高倉校を大きくしたい」と協力を要請した。

小脇と霧谷は、「高倉の衆がどう言おうとオラはあんな村のてっぺんに通わせる気はない。行くのであれば中央に近い室島を選ぶ」という態度であった。

桐山はいつものことと去就があいまいだったが、最終的には中仙田側に味方したようだ。



明治期の仙田村役場(南雲助役提供)

わが町を美しく！



企画の中心になった風紀・美化・広報の3委員長と、回収した空き缶

生徒が空き缶拾いを

実施

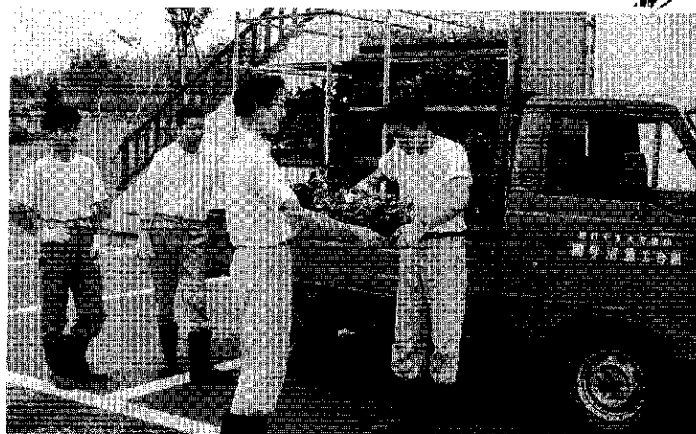
七月十三日、川西中生徒会（高橋孝治会長・生徒数三八六人）では、「町への奉仕活動」として、生徒会が自主的に空き缶拾いを実施しました。

この活動は、ことし初めて企画され、三月ごろから風紀・美化・広報の三委員会が中心になって計画を進めてきたものです。当日は、全校生徒が地域に帰って作業を実施、スチール缶九二九個、アルミ缶二六八個を回収しました。

「はじめは文句を言っていた生徒も、当日になったら協力してくれて、スムーズに実施できた。こういった活動を通じて、新しい一つの伝統ができればうれしい。」と、高橋会長は話しており、第二段として、町内の自動販売機に空き缶入れを設置する計画もあるそうです。

活動報告によれば、空き缶の散乱が目立った町内もあったとか……。みんなが拾う立場になって考え、空き缶などを捨てないようにしたいものです。

花の苗 1,000株を寄贈



入所者（右）から苗を受け取る町職員

七月七日、魚沼地区障害福祉組合（大沢澄男理事長・二市三郡へ十六市町村）で構成）が経営する魚沼更生園の農耕班の代表三人が町を訪れ、サルビア、日日草、ケイトウ、ベゴニアなど、八種類の花の苗一千株を町に寄贈しました。

これは、魚沼更生園と構成員を同じくする魚沼学園が、ことし三十周年を迎えるということで、魚沼更生園でも十六の市町村に感謝の気持ちを表したいと、入所者が一生懸命準備を進めていたものです。

魚沼更生園では、現在、四十人の入所者がおり、町からも一人が社会復帰すべく諸活動に取り組んでいるところだ。

寄贈された花の苗は、月見ヶ原公園やナカゴグリーパークに届けられ、町職員などによって植え付けられました。

わかぶな どうぶつハウス

が完成

七月十五日、千手小学校（佐藤威美校長・児童数二九二人）児童会協賛に、うさぎや鳥を飼育する小屋「わかぶなどうぶつハウス」ができ、その完成式がありました。

このハウスは、学校、PTAなどが中心となって計画を進めてきたもので、三・六メートル×五・四メートルの建て物です。現在、ハウスの中にはうさぎ二羽、チャボ八羽、トウマル一羽が飼育されています。



完成したハウスの前で喜ぶ一・二年の児童

完成式は、わかぶな児童会のとりに委員会（門脇真佐美委員長・15人で構成）を中心に進められ、先生や関係者の見守るなかで、作っていたいた方への感謝状の贈呈や、二年生の代表四人が、うさぎや鳥の格好をして感謝の言葉を述べました。また、歌や飼育小屋の愛称を発表して、完成を喜びあいました。

図書室 だより

寄贈図書を紹介

町役場職員労働組合様から二百五十冊余り、町公民館図書室に寄贈がありました。その一部を紹介しますのでご利用ください。

- 日本内閣史録全六巻
- 翔ぶが如く全七巻 司馬遼太郎
- 項羽と劉邦全三巻 司馬遼太郎
- 街道をゆく三巻 司馬遼太郎
- 阿刀田高著作集
ガラスの肖像他一八冊
- 新書太閤記全四巻 吉川英治
- 宮本武蔵全四巻 吉川英治
- 徳川家康全二十巻 山岡荘八

- 織田信長全五巻 山岡荘八
- 日本文学全集八巻
- 将軍全三巻 ジェームス
- 一億人の昭和史八巻
- ちくま文学の森六巻
- 心はこうして育つ四冊
- 天声人語全二巻 深代淳郎
- 日本歴史物語二巻
- 御宿かわせみ全二巻 平岩弓枝
- すてきなあなたに全二巻
- ガンよ私の真由美よ全二巻
- 朱夏の女たち全二巻 五木寛之
- ふみ子の海全二巻 市川信夫
- 貝になった男 上坂冬子
- 回想 王貞治
- 太閤さまの虎 杉本苑子
- 鈴の鳴る道 星野富弘
- 平成維新 大前研一
- 目玉 吉行淳之介
- 気ままなお弁当 太田治子
- コシヒカリ伝説 名著刊行会
- 今朝の秋 山田太一

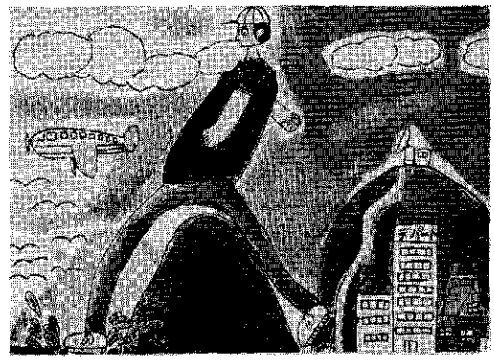
カメラ散歩



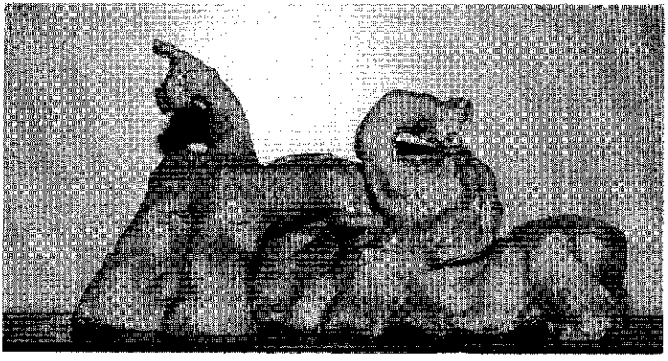
親と子と一緒に楽しんだ親子スキンシップ体操(7.19)



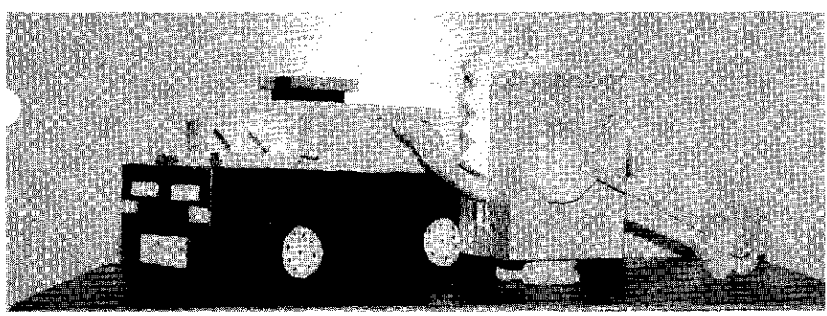
天候に恵まれ、にぎわった十七夜まつり(7.16)



3年 蔵品利浩君



1年 おのづかさとし君・くらしなゆうた君



6年 窪田良人君・山岸大祐君



2年 高橋聡子さん



4年 丸山健太郎君



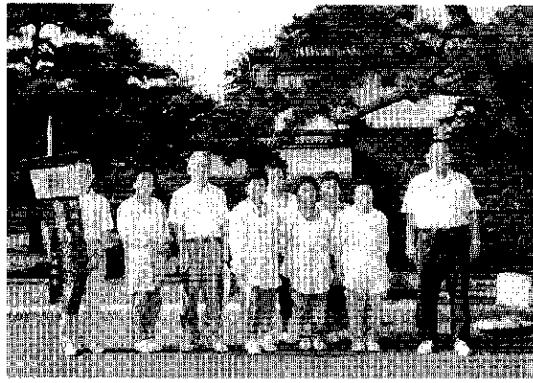
5年 井上冴子さん

ちいさな展覧会

千手小学校

49

(9月号は上野小学校です)



町から参加したみなさん

皇居の勤勞奉仕に参加して

新町新田 鈴木義一

去る六月二十一日から五日間の行程で、川西町の九人の参加者を含む一行四十七人が、第十九回十日町地区皇居勤勞奉仕団に参加させていただきました。

一行は、二十二日、徳川家の中屋敷で、明治五年に献上された赤坂ご用地に向かいました。ここは、天皇ご一家、皇太子、秋篠宮様など、六宮家のお住まいがあります。

ご用地をひと通り案内していただいたあと、天皇・皇后両陛下、皇太子、紀宮様がおそろいでお出ましになり、ご会釈とお

言葉がありました。心の中まで温まるまなざしで、一人ひとりに丁寧にご会釈を繰り返して奥にお入りになりました。私の生涯に銘記すべき感動のひとつでした。

翌二十四日から皇居に奉仕にあげられました。川西町出身で、皇居の護衛部長の高橋秀雄様には、特別のご配慮をいただきました。

来年も引き続き奉仕団を送る予定になっています。ご希望される方は、お早めにお申し込みください。

申し込み先(世話人)

山野田 田村才一郎

☎六八一三九五

新町新田 鈴木義一

☎六八一三四五〇

善意

(敬称略)

成人病予防対策に

匿名希望(木落) 20万円

保健対策に

南雲佐藤治(三領) 3万円

第5回 町内学童親善相撲大会結果

7月19日 総合体育館相撲場

■団体戦

優勝 千手小学校A

(嶋原大介、柳直也、高橋俊博、高橋和也、齋藤保、平沢克広、田村深、柄沢健太)

2位 上野小学校

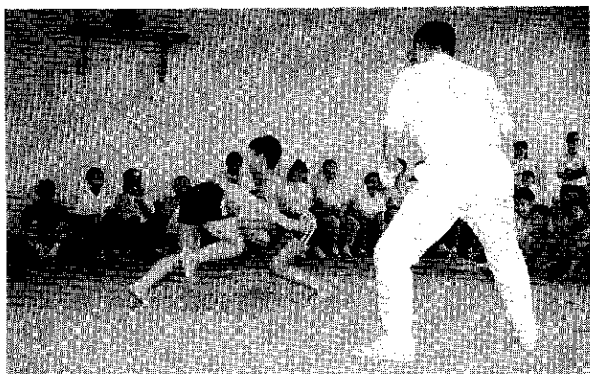
(若山博彰、渡貫正嗣、片桐武彦、丸山一樹、高橋智之、田畑正樹、渡貫陽介、茂野良太、丸山広哲、小川拓郎)

3位 千手小学校B

(根津英和、北村弘行、藤田啓吾、大海真彦、内山鉄兵、茂野進、尾身尚也、南雲基延、相崎政憲)

■個人戦

	4年	5年	6年
優勝	星名 太一(橋)	高橋 俊博(千手)	相崎 泰行(千手)
2位	大久保英和(橋)	高橋 涉(仙田)	秦野 勝義(橋)
3位	若山 博彰(上野)	大海 真彦(千手)	尾身 尚也(千手)
4位	庭野 哲(仙田)	松崎 正(千手)	齋藤 保(千手)
5位	高橋 克幸(千手)	原 秀和(橋)	田村 深(千手)
6位	丸山健太郎(千手)	蔵品 奨(上野)	高橋 智士(千手)



手に汗を握る熱戦の連続です

実習会をして災害時に備える



七月七日、町赤十字奉仕団(高橋スミ委員長・団員一五一人)では、災害用移動炊飯器の実習会を開きました。

この移動炊飯器は、プロパンガス、薪両方で使用ができるもので、風よけの囲みや大きなナベ、ガスバーナーが備え付けてあります。

まず、ナベの水を沸かして、その中にビニールパックの包装食を入れます。このパックは、一合のお米と水を入れ、空気を出して口をしっかりしばればそ

れで出来上がりで、ナベの中には一度に五十袋ぐらいが入ります。炊ければ、手が汚れていても、そのまま食べることが出来ます。

実習では、団員ら十五人ほどが炊飯器の使い方や、実際につくってみることからはじまり、どのくらいで水が沸くか、ごはんの出来上がりはどうか、食味はどうかなど、いろいろチェックをしていました。

不足している用具があったものの、参加した人たちの話では、「食味はまあまあ。中でも、しょう油、ごはんはおいしい出来。」ということでした。

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

田中多恵子 52(平一) 小白倉
 茂野 作一 62(宏行) 室島
 野沢 熊雄 80(六郎) 野口
 小林 テル 83(孝壽) 中島町
 柄沢 米平 84(龍雄) 学校町
 登坂 キク 87(博男) 岩瀬



かわいし 俳壇 太田白南風選

訪へば留守風鈴の鳴りしのみ
 岩瀬 小川 益栄
 庭の木も草も動かぬ日の盛り
 小白倉 田中 優美
 鳴きたてて口大きな燕の子
 上野 内山 寛平
 熱き茶をすすり猛暑に堪えてをり
 練馬区 須藤 遊人
 苔の花山の野佛風化して
 伊勢原市 金子 桂吉
 あたらしき風渡りゆく青田かな
 元町 金子 鉄平
 炎昼のクレーンの唸り雲崩る
 中仙田 高野仙着子
 風鈴を鳴らして風の通る道
 大倉 中条 石平
 大滝の壺に立ちたる涼しさよ
 上野 星名 春子
 笹赤く染め土用梅干し上がり
 岩瀬 登坂伊智子
 夏木立昏れゆき空の暮れ残り
 霜条 星名 星光

たかさご—ご円満に

斎喜 正人 室島
 峠 正江 塩沢町から
 (高橋 一弘 坪山
 鈴木 フジエ 塩沢町から
 田中 新一 小白倉
 野沢 紀子 野口から
 うぶ声—おすこやかに
 渡部亜紗美 正巳 二女野口
 夕立の過ぎ日ぐらしの声涼し
 上野 渡辺 朝
 蔓延びる夕顔に柴立て増して
 四郎兼 平野 恵春
 生き甲斐の菊の挿芽を図り摘む
 新町 若山 向山
 香煙のえんま大干包みけり
 足立区 駒形 頼太
 梅雨明けの宣言となるこの暑さ
 仁田 戸田 貞子
 遠くへは飛ばず菓立ちの雀五羽
 綾瀬市 野沢ますえ
 大いなる風車の廻り青田風
 高倉 斎木 和人
 どくだみの花白々と暮れのこり
 野口 村越 幸
 芋の葉の水玉光り梅雨晴間
 八上子市 松浦 サク
 夕風を涼しく受けて洗髪
 野口 野沢 静江
 老いし妻粽緒う手のあざやかに
 山野田 藤田ひろ志
 散水に走り出て来し蜥蜴かな
 八王子市 田中 ひさ
 蛸のひねもす鳴いて孟蘭盆会
 野口 村越 由喜
 人影の絶えしグラント月見草
 野口 野沢 寅生

高橋 邦浩 勝美 三男田中町

高橋 邦浩 和子
 島山亜利紗 一久 三女朝日町
 小島 泰平 了子 長男新町新田
 高橋 友真 文恵 長男登勢所通り東
 櫃間 颯 祥子 長男伊勢平治
 久保田千紘 由美子 広二 長女栄町
 竿先りの声聞延びして街暑し
 中屋敷 数藤 壮一
 残照の中蛸の澄みわたり
 原田 根津とさ子
 雨上りむせるが如き草いきれ
 木落 丸山 詩朗
 人の波片瀬海岸梅雨明るる
 厚木市 川崎 保一
 梅雨冷えの拾ひ着をしてひと日居り
 上野 入沢 はや
 土用干して梅干の色そまり
 発電所通り 春日 ぶん
 芋洗うごとき海水浴の子等
 霜条 大海 白涛
 梅雨明けの雷となり響きけり
 新町 井川 巨
 七夕の笹引ずって来し子かな
 上町 高橋 銀一
 緑筋ゆ黄泉路へ孫に看取られて
 仁田 中条 清
 桐の花咲いて香りを運ぶ風
 小脇 佐藤 信一
 薫風や大正琴の音の渦
 霜条 大海 隆
 土用入り梅干してあり両隣
 小白倉 江口みゆき
 奥只見ダムに映りて初夏の景
 仁田 羽鳥 美穂

肥満は成人病の温床

肥満予防の食生活

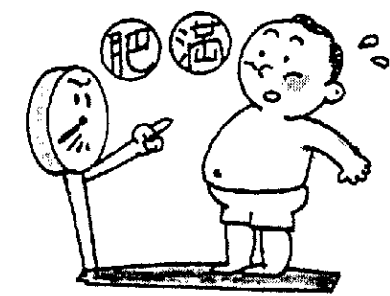
いよいよ夏本番となり、毎日の暑さに食欲の落ちてくる人も、いるのではないのでしょうか。「こゝろな時期に肥満予防なんて」と思いかもしれません。でも、食事のリズムがくるいがあるなら、夏こそ、日ごろの食生活を立て直すチャンスです。

肥満は「成人病の温床」と言われ、心臓病・脳卒中・糖尿病・肝臓病・痛風などの原因となるほか、腰痛や関節痛の原因ともなります。このような厄介者の肥満には、残念ながら治す薬はありません。

肥満対策には、まず日常生活を振り返ることが大切です。甘いものを取り過ぎ、天ぷらやフライ、こつてりとした肉料理が多い。

肥満予防のポイント

- 一日二食きちんと食べる
- 主食・油は控え目に、肉や魚、野菜や海藻類をバランスよく食べる
- 見える所にお菓子を置かない
- ストレスは運動で発散する
- 寝る前二時間は食べない
- ゆっくり、よくかんで食べる
- 外食なら定食を選ぶ
- 食事を残す勇気を持つ
- 週一回は体重測定をし、一週間の反省をする



肥満は生活の乱れの産物です。最近太り気味の方もそうでない方も、もう一度日ごろの生活を振り返ってみてください。